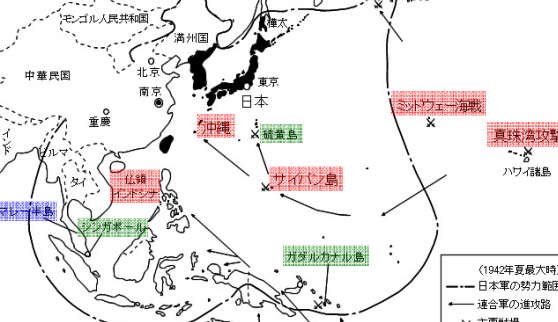


[B] アジア・太平洋戦争

太平洋戦争	政治・外交
1941. 12. 8 真珠湾攻撃 (アメリカ太平洋艦隊の主力を壊滅) 1941. 12. 8 マレー半島上陸 (イギリス東洋艦隊の戦艦を撃沈) 太平洋戦争勃発 (戦争中の日本では大東亜戦争と称された) ★戦争の目的として「大東亜共栄圏」の建設を発表 →欧米勢力の植民地支配からアジア諸民族の解放を掲げる アジアへの侵略政策を正当化するためのスローガン cf. 大西洋憲章 (連合国が発表した第二次大戦の戦争目的) 1942. 2 シンガポール占領 (イギリス軍守備隊が降伏) → この勢いに乗じて、議会での軍部の勢力も確立しよう 1942. 6 ミッドウェー海戦 (空母などの壊滅的打撃を受け敗北) →制海権・制空権を失い、これ以降戦局は不利に転換 1942. 8～ガダルカナル島戦 (1943年2月に日本軍が撤退) 1943. 5 アッツ島の戦い (日本軍2500人が初の玉砕) → →のち、不利な戦局を開閉するため大東亜会議を開催 〔戦時体制〕 学徒出陣 (文系大学生を召集) (学生を軍需工場に動員) 女子挺身隊 (未婚女子を軍需工場に動員) 1944. 7 サイパン島陥落 → 内閣総辞職 サイパン島がB29を中心とした米軍機の日本爆撃の基地となる ★学童疎開 (学童を集団で地方に避難させる) が始まる →これ以降本土空襲が本格化するため	〔皇民化政策 (朝鮮人に対する同化政策)〕 ①創氏改名 (朝鮮人を日本式氏名に改姓させる) ②神社参拝の強要 (朝鮮神社への参拝) ③日本語の強制 (朝鮮語教育の廃止) ④徴兵制の実施 (1943～) ★台湾では1944年から実施 ⑤朝鮮人の強制連行 ex. 従軍慰安婦 中国人強制連行も ex. 花岡事件 (1945) →秋田県で大量被害 1942. 4 翼賛選挙 (第21回衆議院議員総選挙) 大政翼賛会の推薦する候補者466名中381名が当選 →当選した議員が翼賛政治会 (1945年に大日本政治会) 結成 ＝事実上の一党体制が成立 1943. 9 イタリア降伏 (無条件降伏を受諾) 1943. 11 大東亜会議 (占領地域の代表者を集めた会議) 大東亜共同宣言を発表 (大東亜共栄圏の結束を強化) →アジアの団結を対外的に誇示するための会議 (大東亜会議の開催後に連合国が会談) 連合国の協力関係を誇示 〔連合国会談〕 1943. 11 カイロ宣言 (大東亜会議開催後のカイロ会談で発表) ローズヴェルト (米)・チャーチル (英)・蒋介石 (中) ★朝鮮の独立、満州・台湾・澎湖諸島の中華民国への返還、 南洋諸島の委任統治権剥奪など日本の領土問題方針を協議
1945. 2 硫黄島の戦い (日本軍2万人が玉砕) 1945. 3. 10 東京大空襲 (B29爆撃機による焼夷弾爆撃) 1945. 4 沖縄上陸 → 内閣総辞職 鉄血勤皇隊 (男子の戦闘要員)・女子学徒隊 (女子の看護要員) ex. ひめゆり隊 (沖縄師範女子部・県立第一高女の看護隊)	1945. 2 ヤルタ協定 (クリミア半島のヤルタ会談で成立) ローズヴェルト (米)・チャーチル (英)・スターリン (ソ) ★秘密協定で南樺太・千島列島のソ連への引き渡しを条件に ドイツ降伏後から2～3ヶ月以内のソ連の対日参戦を了承 1945. 5 ドイツ降伏 (無条件降伏を受諾)
1945. 6 沖縄占領 (→日本軍による住民への集団自決の強制) → 1945. 8. 6 広島原爆投下 (ウラン型) 8. 8 ソ連の対日参戦 (満州国・南樺太・千島列島などに侵攻) ヤルタ協定に基づきソ連が侵攻 (日ソ中立条約を破る) ★シベリア留置 (日本軍兵士・民間人が収容所で強制労働) 中国残留孤児 (中国人の養父母に育てられた日本人孤児) 8. 9 長崎原爆投下 (プルトニウム型) 8. 14 ポツダム宣言 受諾 (御前会議で最終決定) →終戦の詔書 (天皇が詔書を録音し、翌日にラジオ放送) 8. 15 玉音放送 (天皇が戦争敗北を国民へ伝える) → 内閣総辞職	1945. 7 ドイツも降伏し、孤立無援の日本に降伏を勧める ポツダム宣言 (ベルリン郊外のポツダム会談で発表) トルーマン (米)・チャーチル (英)・スターリン (ソ) →のちアトリー (総選挙の保守党圧勝による) ★ローズヴェルトの死去 (1945. 4)により副大統領から昇格 ①軍国主義の除去・②カイロ宣言に基づく日本の領土制限 ③戦争犯罪人の処罰 (民主主義の復活・基本的人権の尊重) ④米 (トルーマン)・英 (アトリー) 中 (蒋介石) 3国の名で 日本国軍隊への無条件降伏を勧告 (→日本政府は黙殺) まだソ連は対日参戦していないので署名せず
1945. 9. 2 降伏文書調印 (東京湾停泊中の米戦艦ミズーリ号上で調印) 全権＝重光葵 [外相]・梅津美治郎 [参謀総長] ★以降、サンフランシスコ平和条約 (1951)が発効される 1952年までの7年間、連合国による占領政策が行われる 〔戦時中の文学〕 火野葦平『麦と兵隊』(1938) (日中戦争に従軍した筆者の小説) 100万部超のベストセラーとなる 石川達三『生きてゐる兵隊』(1938) (日本軍の残虐性を描写) 発売直後に発禁処分となる	 (1942年夏最大時) --- 日本軍の勢力範囲 → 連合軍の進攻路 × 主要戦場

二・二六事件で襲われた

(敗戦処理内閣)